

## 受動喫煙より怖い？

## 「サードHANDSモーク」とは



喫煙者が吸うたばこの煙を吸い込む受動喫煙の害については、広く知られるようになってきました。そして近年では、たばこを吸った人や喫煙した部屋に残留するニコチンや化学物質などの有害物質による「サードHANDSモーク（三次喫煙、残留受動喫煙）」が問題視されています。

喫煙者がたばこを吸うと立ち上る煙や、吐き出す息の中に有害物質が大量に含まれ、周りの人への影響がなくなるまで約45分かかるといわれます。また、喫煙者の衣服や肌、髪の毛だけでなく、喫煙した部屋の壁紙やカーテン、カーペットなどにも有害物質が付着することがわかっています。そしてこれらは長期間にわたって残留し、換気や除菌剤、消臭剤などでは取り

除くことができません。

サードHANDSモークが受動喫煙以上に悪影響があると考えられているのは、こうした環境で生活することで、受動喫煙よりもゆっくりと時間をかけて、たばこの有害物質が体に吸収されていくからです。特に、床や壁、ソファなどに触れる機会が多い乳幼児は影響を受けやすいといわれます。

サードHANDSモークを防ぐには、室内で喫煙せず、たばこを吸ったらシャワーを浴びて衣服を着替え、約45分間は建物の中に入らない、などの対策が必要となりますが、普段の生活の中で実行するのは現実的ではありません。大切な家族や友人、仲間を守るためにも、禁煙しましょう。

### お知らせ



令和5年9月25日付けで中谷佑紗氏が選定議員を退任し、後任に新田剛志氏が10月1日付けで選定議員へ就任されました。

### 事業概要 (2023年9月末現在)

事業所数



9事業所

被保険者数



男 3,211人  
女 2,761人  
計 5,972人

平均標準報酬月額



男 328,879円  
女 265,912円  
平均 299,768円

被扶養者数



1,102人  
1人当たり扶養率  
0.18人

介護保険第2号被保険者数



1,172人